

校長式辞（令和三年四月八日）

東京都大学付属小学校第六十六回入学式
校長 松木 尚

一年生の皆さん、ご入学おめでとう

皆さんが入学してくるのを心待ちにしておりました。

今年は桜の花が早くに満開となつて、3月の終わりには散り始めて、きようは葉桜になつています。代わりに新しい若葉が、また来年の満開に向かって沢山出てきました。今日、入学式を迎えた皆さんも、桜の若葉のように、新しい気持ちで入学式を迎えたのではないかと思います。そんな、さわやかな心をもつた皆さんをお迎えできたことに、私たちは大変うれしく、心から皆さんを祝福いたします。

皆さんの入学した、この都市大付属小学校は、とっても素敵な小学校です。色々な先生との楽しい勉強と、ワクワクするようなたくさんの冒険が待っています。それから、上級生がとっても優しい小学校です。本日は主席していませんが、みんなの入学をとても楽しみに待っていてくれていたんですよ。だから、心配しないで学校に通ってください。そして、お友達をたくさん作ってください。

それでは、今から、おうちの方にお話をいたしますから、少しの間、そのまま静かに待っていてくださいね。

改めまして、ご父母の皆さまに一言、ご挨拶申し上げます。

本日は、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。
この穏やかな春の日差しのもと、皆さまのご参加をいただき入学式を執り行うことができましたこと、教職員一同、心より嬉しく感じております。また、皆さまをお迎えするために、本校父母の会、会長「池田幸寛（ゆきひろ）」様をはじめ、父母の会総務役員の皆さまが、ご来賓として、祝福にかけつけてくださいました。ご多忙の中ありがとうございます。

わたくしは、令和三年三月まで、十一年にわたり、校長を務めてこられたら重永睦夫先生のご退職に伴い、校長職を引き継ぐこととなりました松木です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、ご家庭で大切に育ててこられたお子さまを、いざ小学校へ入学させるとなると、いろいろなご不安なことがあるのではと、心中ご推察いたします。

特に、新型コロナウイルス感染症が、押しでは引く波のように何度も繰り返し、留まることをせず、今日に至っていることは何よりも心配の種だと思えます。しかし、この間、外出することもままならない中、お子様たちは元気に塾や幼児教室に通い、受験勉強に向かい、入学試験を突破してこられました。大変強い意志と健康な体を、お父さま、お母さまから受け継いでいることと感じていきます。私たちは、お預かりいたしましたお子様を、安全第一にしっかりと教育してまいります。安心して送り出してください。また、本校には、児童教育に専心した、ベテランから若手まで多くの教師がいます。何かご心配なことがありましたら、ご遠慮なく、担任をはじめ、私どもにご相談ください。学校とご家庭とが協力して、初めて良い教育ができると思っております。

本校は全員が中学受験をする学校です。
「高い学力」と「豊かな心」を身につけるためには、伸び伸びとした小学校生活を送らせることが重要です。本校は、そういう観点から様々なプログラムを用意して、お子様たちを育ててまいります。また、そういう学校を、父母の会がしっかりと支えてくださっていますので、わたくしたちとしても、安心して教育活動に取り組んでおります。どうぞ、父母の会にも、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本校創立者は東急グループの創設者で、元高校英語教師でもあり、文化人でもあった、五島慶太先生です。先生は、建学の精神として「りりしく凛として」、「気高き子どもたち」を育てよと言っておられます。目標高く、自身を律する、自立した子供に育てられるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん（子どもにむきなおり）お待たせしました。お母さん、お父さんにご挨拶が終わりました。よく我慢して聞いていましたね。これからも頑張っていきましょう。

以上、式辞とします。